

# 特集 3 商・材・研・究 ADSL サービス

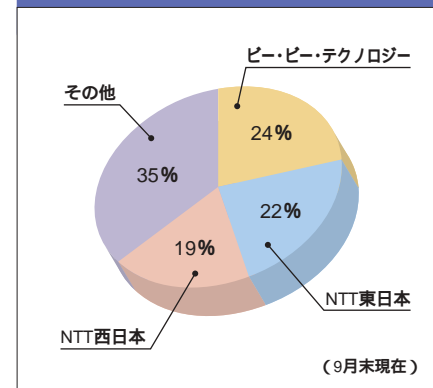
## 12M 対応で市場規模拡大 法人開拓も本格始動へ

最大 12 Mbps の高速通信を実現する ADSL の新サービスが出揃った。到達距離延長の仕組みも取り入れられ、局舎から距離がある地方での展開が容易になった。今後は法人需要の取り込みが重要となる。

総務省の発表によれば、2002年9月末現在の国内のxDSLサービス加入者数は、約422万3000加入と400万加入を突破した。前月からは約30万7000の増加で、6月を除けば2月以来毎月30万加入以上の伸びを記録している。その要因としては、安価な料金、導入のしやすさ、8Mbpsサービスの浸透によるコンテンツ配信サービス等のブロードバンドコンテンツの充実があげられる。

しかし一方で、FTTHサービスの

図 ADSL市場のキャリア別シェア



台頭やCATVインターネットの高速化により、ADSLサービスにもより高速を望む声が大きくなってきた。また、NTTの局舎からの距離が遠く、ADSLサービスを受けることのできないユーザーからのニーズも高まっていた。

こうした背景から、各ADSLキャリアは高速化・長距離対応の準備を進め、今夏から秋にかけて下り最大12Mbpsのサービスを開始した。

新サービスのメリット、主要キャリアが提供するサービスの詳細とユーザーターゲット、さらに法人需要への対応について見ていこう。

### より速く・より遠くを実現

新サービスによってユーザーが受けるメリットは、大別すると高速化と長距離化の2つになる。

高速化では、8Mbpsサービスの利用で8Mbpsが出ているユーザーは12Mbpsへの速度向上が見込め、8Mbpsが出ていなくても、局舎からの距離が2kmぐらいまでなら10Mbps程度の高速アクセスが可能。また、2km以上離れたユーザーでも、8Mbpsサービスに比べ、平均数百kbpsの速度向上が期待できる。

長距離化では、各事業者は局舎から6~7km離れたユーザーへのサービス提供が実現するようになり、従来ADSLサービスを受けることが難しかった局舎から4km以上離れたユーザーも利用できるようになった。

### 全ユーザーにメリットを提供

主要キャリアのサービスの詳細を見ていくことにしよう。

いち早く12Mbpsサービスを開始したのはビー・ピー・テクノロジーだ。同社は7月1日からの試験サービスに引き続き、8月12日から「Yahoo! BB 12M」サービスを開始した。同サービスには「AnnexA.ex」技術を用いるが、「AnnexA」と「AnnexC」の両規格もサポートし、「Yahoo! BB コンボモデム12M」により、ユーザーの通信環境に応じて自動的に切り替える仕組みを採用している。これにより、距離の問題だけでなく、通信干渉などによる速度減衰でADSLの利用が難しかったユーザーもサービスを受用できるようになった。

月額基本料金はADSLサービス料が8Mbpsサービス比で200円増の1190円となるが、ISP料金は1290円のまま変わらず、合計2480円となる(別途NTTの回線使用料173円が必

要、以下同)。モデムはレンタルの場合、同200円増の月額890円、買い取りの場合は4万2720円となっている。

提供エリアも積極的に拡大中で、11月8日までに47都道府県1400以上の局舎でのサービス体制が整う。その効果もあって、同社のADSLサービスは、9月末時点で100万加入を突破(101万1000加入)し、NTT東日本を抜いてシェアトップに躍り出た模様だ。同社では新サービスでさらなる飛躍を目指していく。

アッカ・ネットワークスは「12Mbpsサービス」に先駆け、7月24日から「10Mbps ADSLサービス」を開始した。その理由を広報室の吉田朋子マネジャーは、「簡単にサービス提供できることが分かったため、より速くというニーズに対応した」と説明する。同サービスは「S=1/2」技術を使用。ユーザーは8Mbps対応モデム(富士通製品のみ)のファームウェアをバージョンアップすれば、コース変更手続きをすることなく、8Mbps

と同じ料金でサービスを受けられる。サービスの恩恵を受けるのは8Mbpsでフルリンクが確立できているユーザーだが、実際にはかなりのユーザーが利用しているという。現在はすべての局舎で10M対応が完了しており、同社の8Mbpsサービスは実質10Mbpsとなっている。

12Mbpsサービスは10月3日から順次開始している。10Mbpsサービスとの最大の違いは、「局舎から近いユーザーだけでなく、すべてのユーザーにメリットがある点(吉田マネジャー)という。米グローブスパン・ピラータの「C.x」技術を採用することで局舎から離れたユーザーも約500kbps以上の速度向上が期待でき、最大伝送距離が従来の4.5kmから約7kmに延長されることが見込めるため、ほとんどのユーザーが加入できるようになった。

提供エリアは10月中旬までに既存の534局すべてで対応を完了し、その後は年内にさらに157局でサービ

表1 主要キャリアの12MbpsADSLサービス

事業者名	アッカ・ネットワークス	イー・アクセス	NTT東日本/西日本	T-com	ビー・ピー・テクノロジー	平成電電
サービス名	12Mbpsサービス	ADSLプラス	フレッツ・ADSL モア	12Mプラン	Yahoo! BB 12M	電光石火
サービス開始	2002年10月3日	2002年10月1日	2002年11月8日(東) 2002年11月1日(西)	2002年10月10日	2002年8月12日	2002年9月10日 (8Mbpsから開始、 12Mbpsは12月予定)
下り伝送速度	最大12Mbps	最大12Mbps	最大概ね12Mbps	最大12Mbps	最大12Mbps	最大12Mbps
上り伝送速度	最大1Mbps	最大1Mbps	最大概ね1Mbps	最大1Mbps	最大1Mbps	最大1Mbps
中距離ユーザーの速度アップ	全体的に約500kbps以上	最大1Mbps(100kbps~)	8Mbpsサービスで3~4Mbps出ているユーザーは約500kbps	最大500kbps(数十kbps~)	愛知県大口町の実証実験で平均約1Mbps	-
最長距離	約7km	約7km	およそ5~6km	約6km	7km (Reach DSLでは9km)	7km
採用技術	C.x (チップベンダーと共同開発)	eXtremeDSLをベースにカスタマイズ	eXtremeDSL + チューニング	eXtremeDSL	AnnexA.ex, AnnexA, AnnexCの中からユーザーの通信環境に最適なものを選択(長距離化はReach DSLも併用)	C.x
モデム提供方法	レンタル	レンタル	レンタル/買い取り	レンタル	レンタル/買い取り	レンタル/買い取り
提供エリア(12M開始時)	12都道府県534局	20都道府県566局	(東)東京都板橋区等6区 (西)大阪府の主要市部	東京、神奈川、千葉、埼玉の210局	-	20都道府県321局(12月)
提供エリア(今後)	29都道府県691局(12月予定) 年内に717局までの予定	年内に45都道府県741局、その後来春にかけて47都道府県875局まで予定	(東)2003年1月下旬までに東京、神奈川、千葉、埼玉ほぼ全域 (西)11月下旬までに兵庫、愛知等2府5県の主要市部、12月以降エリア内各県へ	年内に神奈川、千葉で2局開局	11月8日までに47都道府県約1400局(予定)	41都道府県1466局(2003年3月予定)